

2021年度 第2回 家庭教育学級講座 報告

12月11日(土)、八木陽子氏を講師としてお招きし「子供のキャリアとお金の教育、子供に教えるキャリア設定とお金の考え方」をテーマにご講演いただきました。

講師:八木 陽子(やぎ ようこ)氏

(株)イー・カンパニー代表取締役 / キッズ・マネー・ステーション®代表

参加者:世田谷区教育委員会 生涯学習・地域学校連携課 社会教育主事 吉田周平様
旭小学校 菊地校長先生

PTA会員 約35名(家庭教育委員含む)

八木陽子氏のご講演内容

■今、お金教育やキャリア教育が必要な理由

①社会構造の変化

企業、国の制度が変化、金融決済の変化。格差社会や貧困問題が起こっている。

②家庭環境の変化

ライフスタイルが変化(ネット・宅配での買い物)。教育費の家計負担増加。

③お金のトラブルの増加

若者のお金に関連したトラブル増加(ネット取引、悪質商法、架空請求、自己破産など)



“実社会で生きる力を身につける。”

■お金教育やキャリア教育とは…

- HOP! …「お金の大切さ」や「働く」ことを知るコミュニケーション
- STEP! … 知識・技術の習得(おこづかい、消費者教育など)
- JUMP! … 将来の仕事や社会の仕組みを考える

①HOP! 親子で会話しよう!

- 「キャッシュレス、お金はどこからやってくる？」




(1)働いてお金を得る→(2)そのお金を銀行に預ける→(3)キャッシュレス(カード)で
買い物をする→(4)銀行から使ったお金が引き落とされる

②STEP! 子どものお金の管理ってどうするの？

- おこづかいてどうやってあげればいいのか?→おこづかい契約書をつくろう!
定額制、報酬制、ミックス制。どれにするのかは家庭の方針によって決めて管理していく。
- おこづかいてどうやって管理すればいいのか?→目的ごとに予算わけをしよう!
- おこづかいをもらっている子どもは自分で判断する能力がつく。
→小学3、4年生の頃からスタートし訓練していくのがおすすめ。

STEP1 おこづかいの管理方法

目的ごとに予算わけする。

自分のために つかうお金	人のために つかうお金	いざというときの お金(貯金)
		
例) 400円 (文房具、週1回ジュースを 買うなど)	200円 (1年間で2,400円の プレゼント・募金 など)	100円 (3年間で3,600円の 貯金 など)

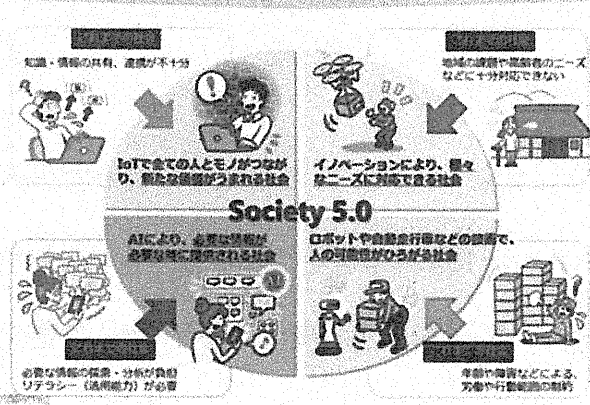
例) 400+200+100=700円

Copyright © Kid's Money Station All rights reserved 10

③JUMP! 目標設定と工程の大切さ

- 山登りに例えると、まず地図で行き方を考え、かかる時間や天候を確認し、服装・食料の準備をする。→目標を意識しなければなかなか頂上にたどりつけない。
- 目標設定が難しい場合・・・子供が今好きな事を応援する。次の時代にどんな仕事生まれるか日々アンテナをはっておく。

次の時代は何が生まれるか



Society 5.0

Copyright © Kid's Money Station All rights reserved 12

- 大切なことは変わらない・・・お金＝ありがとう！！
- 働く事とは「ありがとう」の交換。喜んでもらったり困りごとを解決したり役に立つこと。
- お金やキャリア教育とは、親子で学び、社会の仕組みを知り、より良い未来を作ること。

◇アンケートより一部抜粋
■参加者の声

- 子どものお小遣いを3つの用途に分けて貯めること、小さいうちからお金の話をしてお小遣いを与えることが自己判断力と将来的なオープンな会話を育むことにつながる等、学びが沢山ありました。
- 子どもはキャッシュレスの理解が乏しいということを含めて今まで気に留めていませんでした。大切なことだと思うので、折に触れ教えていきたいと感じました。
- お金に対するネガティブな考えを植えつけないように、という言葉は刺さりました。つい愚痴ってしまうのをやめます！
- 時代の変化やコロナの影響でお金のあり方や職業など大きく変わってきていることを知り、子供とよくコミュニケーションを取り親子共に学んでいくことが必要だと感じました。